



予算特別委員会の様子

予算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- |          |        |        |
|----------|--------|--------|
| ◎ ふじさわ進一 | 牧野けんじ  | 福本みつひろ |
| ○ くぼた龍一  | 神尾てるあき | 小俣のり子  |
| 田島 寛之    | 岩田まさかず | セバタ 勇  |
| 小林あすか    | 間宮 由美  | 伊藤てる子  |
| よ ぎ      | 太田きみひろ | 竹内すすむ  |
| 本西みつえ    | 栗原ゆたか  | 川瀬やすのり |
| 伊藤ひとみ    | 野崎まこと  | 早川 和江  |
| 斉藤つばさ    | 大橋美枝子  | 島村 和成  |
| しかくら勇    | 金井しげる  |        |
| 白井正三郎    | 笹本ひさし  |        |
- 委員定数 19 人 (委員の途中交代あり)

## 令和3年第1回定例会

# 令和3年度各会計予算案を可決

令和3年第1回定例会は2月17日から3月23日までの35日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、令和3年度各会計予算案を含む37件の議案、同意2件、報告4件が提出されました。各会計予算案については、予算特別委員会を設置し、今後の区政方針や諸施策などについて詳細に審査を行いました。

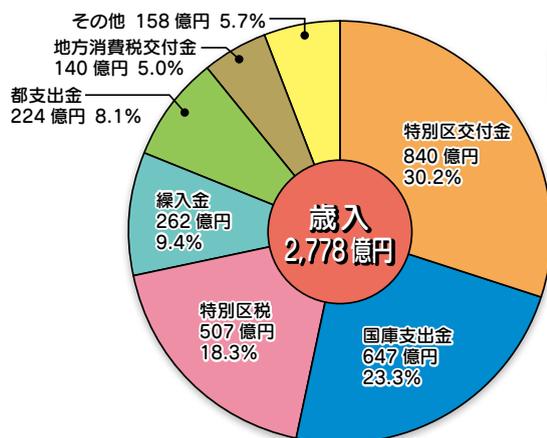
これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「江戸川区議会会議規則の一部を改正する規則」を含む4件の議案が提出され、継続審査となった2件を除き、全会一致で可決されました。

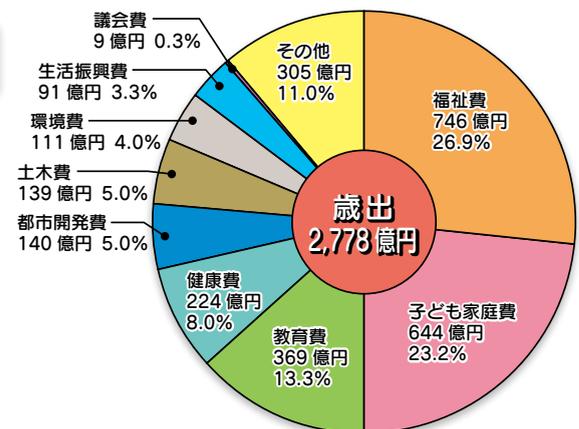
この定例会の会議録は、6月頃にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

## 令和3年度当初予算の概要

区分	3年度	2年度	増減率
一般会計	2,777億6,080万5千円	2,664億2,568万5千円	4.3%
国民健康保険事業特別会計	603億4,309万1千円	607億4,644万8千円	△0.7%
介護保険事業特別会計	487億9,062万7千円	462億7,223万7千円	5.4%
後期高齢者医療特別会計	138億5,842万9千円	136億7,775万8千円	1.3%
合計	4,007億5,295万2千円	3,871億2,212万8千円	3.5%



### 一般会計予算の内訳



### 第1回臨時会の概要

令和3年第1回臨時会は1月19日に会期1日間で開かれました。

この議会には区長から、新型コロナウイルスワクチン接種委託等を含む補正予算の議案1件と報告1件が提出され、全会一致で可決されました。

### 区長から提出された議案

- 議案
  - ・令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第9号)
- 報告
  - ・専決処分した事件の報告及び承認について  
令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第8号)

## 区政への質問

2月22日に代表質問、24日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

### 代表質問

円滑、迅速なワクチン接種を！  
江戸川、中川治水対策の推進！



自由民主党  
大西 洋平



#### 問 令和3年度予算編成について。

- ①どのような課題認識のもと、臨まれたのか。
- ②予算案を通じて、区民にどのようなメッセージを伝えていくのか。

答 ①歳入減少の影響が避けられない状況にあっても、これまでの徹底した健全財政推進の取り組みで培ってきた財政力を最大限に発揮し、区民生活の向上と地域経済の活性化を図っていききたい。そして、将来に向けて負担を先送りしない計画性、持続性のある行財政運営を目指し、積極的な予算編成を行った。

②共生社会の実現を第一に目指していく。本区の誇る地域力を更に高め、区議会や区民の皆様とともに、将来の江戸川区の姿を見据えて積極的な取り組みを進めていきたい。

問 (仮称) 共生社会ビジョンは、区の根幹をなす重要なビジョンであり、策定のプロセスに議会も積極的に関わるべきと考える。本区の未来を決めると言っても過言ではないビジョン策定をどのように丁寧に行っていくのか。

答 議員の皆さんや関係団体、職員とともにワークショップ形式等で議論を行い、江戸川区が目指すべき未来と実現のための施策について検討していききたい。

#### 問 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について。

- ①個別接種において、どのようにかかりつけ医の先生方との連携強化を図っていくのか。
- ②集団接種において、密にならない等の対策と安定した場所の確保を今後どのように行っていくのか。
- ③円滑に接種を行っていく必要があり、バス巡回型等の様々な手法の導入について、迅速かつ柔軟な検討が必要と考えるが。



#### 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

答 ①医師会と協力しながら、一方でコールセンターの開設等を行い、先生方に負担がかからず、区民が安心できる接種体制を作っていく。

②会場における感染症対策も万全に行い、ワクチン供給量や接種の進捗状況等を見極めながら、計画的に会場を確保していく。

③車両による巡回接種を検討しているが、今後の状況変化も踏まえて対応していく。また、区民の皆様への情報提供をしっかりと行っていく。

#### 問 安全・安心なまちづくりの推進。

- ①中川左岸堤防の治水対策について。
- ②都立篠崎公園地区高台化について。

#### ③都県橋「補助143号線橋梁」について。

答 ①ゼロメートル地帯の本区にとって、中川左岸堤防強化は大変重要な課題であり、国や都と連携し、整備方策の検討を進めていく。

②篠崎公園高台化を含む6つの事業を一体的に進めるため、国や都とともに制度や事業手法等の検討を行い、早期実現を図っていく。

③市川市との連携を更に強めるとともに、千葉県や東京都ともしっかり連携し、令和4年度の事業化に向けて着実に前進していききたい。

問 今年4月から産業振興課は産業経済部として新たなスタートをきる。その象徴として、地域名産品等の研究開発への支援策を検討してはどうか。

答 新しい部を創設する意義として、地域の実情をつぶさに調べ、必要な支援を把握することが目的の1つにある。地域名産品の注目が広がれば、区のイメージアップにも繋がるため、現在の支援制度に加え、各産品の普及に繋がるような支援を様々な角度から研究し、フレキシブルな対応を進めていきたい。

問 (仮称) 松島コミュニティ会館について。

①安全面に考慮し、創意工夫をすることで、屋内でのボールの使用等、多目的に活用できる施設とすることは十分可能と考えるが。

②地域の皆様が利用しやすい施設となるよう努めていくことが重要と考えるが。

答 ①多目的広場を作ってほしいという地域からの要望も踏まえ、軟式ボールを使用した練習等、多目的利用を可能としていきたい。

②コミュニティ会館条例を遵守した上で、地域の声をしっかりと聞きながら対応していく。

### 区政運営及び新型コロナウイルス感染症対策について



公明党  
竹内 すすむ



#### 問 区政運営について。

- ①令和3年度予算編成について。
- ②脱炭素の取り組みについて。
- ③デジタルトランスフォーメーションの取り組みについて。

答 ①リーマンショック時の経験を踏まえ、財調基金の活用を提案した。多様な立場にある区民一人ひとりにとって、魅力あるまちを目指す。

②気候変動適応センターを設置し、国や都と連携して実態に合った対策に取り組んでいく。

③「DX推進指針」に基づいた進捗管理を行いながら、計画的に進めていく。

問 新型コロナウイルス感染症対策について。

- ①ワクチン接種の概要について。
- 1) 医師や保健師等の人材確保について。
- 2) 高齢者施設等への巡回接種について。
- 3) かかりつけ医での接種について。
- 4) 会場に行けない在宅者への接種について。
- ②今後のPCR検査について。
- ③自宅療養者に対する支援強化について。
- ④在宅介護者や要介護者の対応について。
- ⑤医療従事者等への更なる支援について。

#### ⑥区内事業者への更なる支援について。

答 ①個別・集団・巡回接種を基本体制とする。医師会の先生方や委託業者と協力して接種体制を確保し、柔軟に対応していききたい。

②高齢者施設の2回目の巡回検査を行いたい。

③健康状況を見極め、適切に医療に繋げる。

④安心して在宅生活が送れるよう努めていく。

⑤医師会としっかり相談し、対応していく。

⑥きめ細やかな支援に繋がる施策を行いたい。

問 新庁舎建設と船堀駅周辺のまちづくりに対する区長の思いと構想について。

答 進化する庁舎と、都市機能の集積やにぎわいと活力ある、災害に強いまちを目指す。

問 新年度へ向けた組織改正について。

①組織改正の目的と狙いについて。

②新型コロナウイルス感染症に係る今後の組織や体制の整備について。

③管理職人材の確保と育成について。

答 ①課題の整理と区政の更なる前進のため。②状況に合わせて的確な判断を行っていく。

③育成体制を充実させ、人材確保に努める。

問 35人学級への取り組みについて。

①教員の資質について。

②新たな学びのあり方について。

③今後の見通しと課題の取り組みについて。

④学校全体での取り組みについて。

答 ①研修会等により資質向上を図っている。

②新たな学びに向けた研修を推進・支援する。

③学級増となるが保有教室数の範囲内である。常に良好な学習環境が提供されるよう努める。

④きめ細やかな指導に向けた授業改善を行う。

### コロナ禍からの反転攻勢を見据えた令和3年度予算！



江戸川クラブ  
岩田 まさかず



問 コロナ終息後の反転攻勢を見据えた積極型予算といえる、令和3年度予算案に込めた区長の思いと江戸川区の未来像について。

答 2030年、2100年を見据えた視点で予算を計上した。生きていく上で子どもたちが夢や希望を持てる江戸川区を議員の皆さんと一緒に作り上げていきたい。

問 区長は行政の長として、コロナ禍でどのような教訓を得て、どう未来に生かすのか、区民の皆様へメッセージを。

答 区民の皆様の「人を思いやる心」や「人情」が江戸川区にとって大切なものであり、しっかり引き継ぐべきものであると感じた。様々な制度や施策も大事であるが、区民の皆様幸せを感じてもらうための視点も意識しながら行政を進め、未来に繋いでいきたい。

問 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に対する漠然とした不安を感じる人が多い中、急がれるワクチン接種に向けて、区民の命を守る区長の覚悟を。

答 日々、状況は変化しており、柔軟に対応し

ていく必要がある。予診・接種・経過観察に要する時間は人によって異なる可能性もあるため、実態に沿った形でスケジュール等を組み立てていきたい。

**問 人口減少社会の今、時代に合わなくなった制度や価値観をアップデートする必要があると考えるが、区長は人口減少をどのように捉えているのか、江戸川区の未来展望も含めた考えを。**

答 人口減少は、全国の自治体が直面する課題であり、必ずしも希望を持っていないものではないと思っている。区民の皆様の意見を聞いた上で、議員の皆さんと一緒にあるべき未来の姿とそれに対する施策について、議論していきたい。

**問 現在、準備を進めている「江戸川区子どもの権利条例」制定について。**

①権利ばかりの一面的な強調が目立つ行き過ぎた子ども中心主義への懸念を感じるが、子どもの権利条例の制定の意義は。

②行き過ぎた子ども中心主義は、学校現場において、教育や指導が否定されやすいか。



「江戸川区子どもの権利条例」制定について

答 ①共生社会の実現に向けて、子どもが権利の主体として位置づけられることは意義あることだと思っている。子どもの意見や考えを受け止めるというだけでなく、年齢や心・身体の発達に応じた指導を周りの大人が行っていくことも否定していないものである。

②日本の未来を託す子どもたちの成長のために教育があり、子どもの権利条例がある。子どもの権利条例は教育や指導を否定するものではなく、その点を学校現場にもしっかりと理解してもらう必要があると考える。



PCR検査拡充・待機児解消は  
保育の質確保で・国保料軽減

日本共産党  
小俣 のり子



**問 コロナ感染症の更なる対策について。**

- ①施設巡回型検査の定期的な実施継続を。
- ②高齢者や基礎疾患のある区民等を対象に、無料・低額のPCR検査の実施を。
- ③独自の療養施設や生活・所得補償の検討を。
- ④ワクチン接種の情報提供・予約等の対処を。
- ⑤都立病院直営を守るための努力を。

答 ①今後はワクチン接種を最優先とする。  
②医師が必要と判断した場合は無償であり、公費と自費の分担があつて然るべきと考える。  
③都と連携して宿泊施設を活用していく。生活所得補償はきめ細やかに行っている。  
④様々な媒体を使って情報提供を行いたい。コールセンターの開設も予定している。  
⑤区民に影響がある場合は都に意見していく。

**問 安心して預けられる保育園について。**

- ①指導検査の年1回実施と職員増で体制強化を。
- ②コロナ禍の中で保育現場改善を。
- 1)私立保育園へ「保育体制強化事業」の有効活用と「就職フェア」継続など人材確保の支援を。
- 2)区立保育園の育休・病欠を正規で人材確保を。

**③国の保育施設改善を。**

- 1)「新子育て安心プラン」の規制緩和を行わないこと。
- 2)保育士配置基準の見直しを求めること。
- 3)保育士への慰労金を国に求めること。



安心して預けられる保育園について

答 ①今後も、指導体制を充実していく。  
②1)有効活用に向け、制度の周知を図る。人員確保は、引き続き保育団体と協力していく。  
2)状況に応じた個々の対応を行っている。  
③1)当面原則維持、状況をよく見て考えていく。  
2)保育に集中できるよう様々な事業の推移を見ていく。  
3)国会の審議をしっかり見守りたい。

**問 命を守る国民健康保険制度を。**

- ①国保料値上げを抑えた理由と1年後経済悪化の場合の対応について。
- ②コロナに係る国保料減免・猶予の延長を。
- ③国民健康保険と協会けんぽについて。
- 1)事業主負担と均等割負担をどう考えるか。
- 2)国庫負担増額で国民皆保険を守るべき。
- ④後期高齢者2割負担撤回を求めること。
- ⑤区独自に未就学児の均等割軽減の実施を。

答 ①コロナ禍の影響を鑑み、値上げを抑えた。今後、本来あるべき保険料に戻していく。  
②国の動向に沿ってしっかり対応していく。  
③1)相互扶助で支えられている制度であり、応分の保険料を負担してもらう必要がある。  
2)以前から求めており、引き続き要望していく。  
④国会での活発な議論を注視していきたい。  
⑤国が実施するため、区独自では考えていない。

## 一般質問

危機の時代 区民の命・財産と日常を守るため



自由民主党  
野崎 まこと



**問 葛西弁を話せる人が徐々に少なくなる中、「わが町葛西の方言」をもとに、文字だけでなく音声としても記録に残してほしい。**

答 「わが町葛西の方言」は、葛西弁に関する貴重な記録である。文字だけでなく音声として残すことも重要であり、どのようなやり方で残していくのか検討していく。

**問 これまでの新型コロナウイルス感染症対策に対する評価と現状、今後について。ワクチン接種のロードマップと住民票のない人への接種について。巡回PCR検査の結果と今後について。また、巡回PCR検査の対象に保育ママは含まれているか。**

答 議員の皆さんと一緒に、相談や検査、療養体制を区で一貫して整備してきたと考えている。今後も状況に応じた対応を進めていきたい。接種については、3月までは医療従事者優先で、4月から高齢者、7月から基礎疾患のある方やそれ以外の皆さんとなる予定であるが、状況に合わせた対応を行っていく。住民票のない方には

個別に対応していく。巡回PCR検査については、2月3日時点で722施設に対して行っており、今後は、高齢者施設に対して2回目の検査を行いたい。また、保育ママも対象としており、3月中には実施していく。

**問 SDGsを達成するため、2030年に向けて普及事業をどのように展開していくのか。また、本区にもインクルーシブ公園を。**

答 まずはSDGsを「知る・理解する」事業を中心に、議員・区民・事業者の皆様と一緒に取り組んでいく。また、新たな助成制度を活用し、誰もが一緒にふれあいながら楽しく遊べるインクルーシブ公園を整備していきたい。

**問 避難所に非常用浄水装置とウォータータンクを配備することになった考えを。大規模浸水発生時の排水に係る対策の検討・推進について。復旧・復興の迅速化を図ることができる地籍調査の実施について。**

答 大規模水害時でも飲料水を確保するため、プールが浸水しない避難所には非常用浄水装置、それ以外の避難所にはウォータータンクを設置する。排水機能強化については、今後も様々な形で都に要請していく。地籍調査についても着実に取り組んでいきたい。

**問 コロナ禍における夏休みの短縮や学校行事の削減等の対応策をどのように評価するか。また、令和3年度はどのように考えているのか。35人学級化による学校改築・統廃合計画等への影響は。タブレット端末の配備により、児童・生徒の荷物が増えることへの対応について。すすくすくスクールに防犯対策として刺股やネットランチャーの設置を。**

答 感染防止対策に取り組みつつ、授業時数の確保に努めてきた。先生方の創意工夫と努力によって、学習活動の充実が図れていると考えている。令和3年度においては、例年通りの学校生活を送れるよう予定を組んでいる。現在、計画している改築・統廃校については、35人学級編成を見込みながら、将来的な学級数を算定した上で対応する。タブレット端末導入後の対応については、引き続き、自宅に持ち帰る荷物を精査し対応していく。すすくすくスクールの防犯対策については、現場職員の声を聞きながら取り組んでいく。

**問 葛西駅のホームドア設置工事の状況は。また、ホームの拡張と博物館口へのエレベーター設置について。**

答 ホームドア設置については、新型コロナウイルスの影響により工期を延伸予定である。ホーム拡張とエレベーター設置については、引き続き、東京メトロに要請していく。

AYA世代がん患者への支援導入を!



公明党  
田中 じゅん子



**問 医療的ケア児への支援について。**

- ①現状と課題への対応について。
  - ②在宅で人工呼吸器等を使用している医療的ケア児への災害対応について。
  - ③通所・短期入所施設の整備を進めるべき。
  - ④保育所等での受け入れ体制を整備すべき。
  - ⑤区立小中学校等における受け入れについて。
- 答 ①現在、区内には79名の医療的ケア児がいる。関係機関と連携し、ライフステージに応

じた支援体制を構築していく。

- ②来年度、発電装置購入の助成を行う。今後、発電装置の実地訓練等にも取り組みたい。
- ③誘致も含め、様々な角度から検討していく。
- ④区立保育園については検討を進めながら、国や都の対応を見定める。
- ⑤国の通知等を踏まえ、よく研究していく。

**AYA世代がん患者への支援について。**

- ①妊孕性温存治療の費用助成制度の導入を。
- ②在宅療養支援を導入すべき。
- ③ ①令和3年度から都の助成制度が始まるため、その状況等を見定めていきたい。
- ②支援が必要な方もいるため、検討していく。

**子宮頸がんワクチン接種対象者へ接種の可否を判断するための情報提供を。**

- ③ 来年度から高校1年生相当の方を対象に、接種対象であることや効果・リスクについて確実に周知するため、個別通知を行う。

**福祉理美容出張サービスについて、対象者を要介護3の方々に拡大すべき。また、周知方法の拡充とインターネット申請の実現を。**

- ③ 理美容組合と意見交換をしながら検討していく。令和3年度、電子申請の準備を開始する。

**区立小中学校において、通常の消毒に加え、次亜塩素酸水生成器の設置を検討しては。**

- ③ 文科省の衛生管理マニュアルに基づき、まずは十分な消毒液の確保に努める。

**東部篠崎地域の喫煙の課題について。**

- ①東部地域の一大スポーツ拠点構想について。
- ②都市計画道路補助286号線都県橋について。
- ③ ①本年夏から秋にかけて構想を作成し、令和3年度末には基本計画をまとめていきたい。
- ②国や都も認識していると思われ、今後取り組んでいく。

**ジェンダー平等、少人数学級推進を、扶養照会徹廃を**



日本共産党  
牧野 けんじ



**ジェンダー平等について。**

- ①ジェンダー平等をめぐる社会情勢に対する認識と今後のジェンダー平等実現について。
- ②LGBTなど性的マイノリティ対応の専門相談員を配置した窓口の設置を。
- ③パートナーシップ制度の拡充、ファミリーシップ制度の導入、制度検討委員会の設置を。
- ④ ①全庁を挙げてSDGsに取り組んでおり、中でも分野横断的な課題であるジェンダー平等については、男女共同参画推進計画に基づき、引き続き課題解決に取り組んでいく。
- ②来年度、LGBTQにも対応できる弁護士を新規に配属し、相談窓口を開設する。
- ③事実婚の方までの対象の拡充については、今後の参考とする。ファミリーシップ制度と検討委員会については、今後研究していく。

**生活保護行政について。**

- ①区が実施する扶養照会の現状について。
- ②申請者に扶養照会は義務ではないことも明示し、承諾を得よう徹底すべき。
- ③スティグマ要因で、金銭的支援に結びつかない扶養照会をなくすよう国に求めるべき。
- ④制度の周知とアウトリーチの更なる充実を。
- ⑤ ①昨年度は3,696件の照会件数のうち、金銭による援助の申出が9件、令和2年度1月までは6,634件の照会件数のうち、金銭による援助

の申出が17件であった。

- ②慎重に対応している。照会の際には事前に説明を行い、了承を得られるよう努めている。
- ③金銭的支援だけでなく、受給者の自立助長に繋がるものであり、要望する考えはない。
- ④周知、アウトリーチとも行っている。

**学校教育について。**

- ①35人学級の前倒し実施と中学校も含めた30～20人程度の学級の推進を求めるべき。
- ②学校統廃合において、大規模校となる統合は実施しないこと、地域や保護者、子どもの声をしっかり聞くことを求める。
- ③ ①国の方針に基づき、計画的に対応できるような段階的な整備を行っていく。
- ②良好な教育環境の確保に努め、今後も地域や保護者の声を聞きながら丁寧に進めていく。

**男女共同参画・児童相談所・ヤングケアラー**



生活者ネットワーク・立憲民主党  
本西 みつえ



**男女共同参画については、発災時においても相談窓口の設置等、人権・男女共同参画推進センターに役割を。**

- ③ 推進計画に基づき課題解決に取り組んでおり、今後も計画の見直しや啓発事業、関係部署と連携した取り組みを行っていく。

**児童相談所について。**

- ①第三者機関による相談・救済の仕組み構築を。
- ②アドボカシー制度の活用について見解を。
- ③ ①権利擁護機関の設置を目指している。
- ②アドボケーター等の制度も活用し、子どもの権利を第一にした相談援助活動を進めていく。

**ヤングケアラーについて。**

- ①学校での気づきと支援に繋げる取り組みを。
- ②声を上げやすい地域となるよう周知を。
- ③具体的な支援へと繋げる体制について。
- ④ ①引き続き、相談体制の整備や児童相談所との課題共有等の体制強化に努めていく。
- ②関係者や地域に対し、優先的にやっている。
- ③児童相談所を中心に他機関等と連携しながら、より良い支援のあり方を考えていきたい。

**消防団への環境整備  
コロナ禍での健康管理**



えどがわ区民の会  
金井 しげる



**今後の成人式について、開催可否判断の指針や今後もオンライン配信を。**

- ③ 開催の可否を総合的に判断する基準の発信に努めていきたい。オンライン配信については研究していく。

**コロナ禍におけるフレイル予防や、高齢者のみならず全ての世代の健康管理について。**

- ③ 自粛生活中も健康を維持できるよう様々な取り組みを進めており、今後も関係部署と連携して、それらを更に強化していきたい。

**消防団の皆さんに対し、更に活動しやすい環境を提供すべきと考えるが。**

- ③ 消防団の重要性は認識しており、無くてはならないものである。消防団にしっかり意見を聞いた上で、個別に対応していきたい。

**新型コロナウイルス感染症  
禍の自殺防止対策について**



公明党  
くぼた 龍一



**新型コロナウイルス感染症禍における自殺防止対策について。**

- ①インターネットゲートキーパー事業の課題と取り組みについて。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた自殺者の現状と今後の取り組みについて。

- ③ ①自殺関連ワード検索件数を受け止め、支援が必要な方を関係機関に繋がられるよう取り組む。

- ②本区における自殺者数は減少傾向にあり、引き続き、様々な対策を積み重ねていく。

**熟年しあわせ計画及び第8期介護保険事業計画について。**

- ①計画検討を踏まえた今後の展望や思いについて。
- ②特別養護老人ホームの新規整備について。
- ③今後の介護保険料の考え方について。

- ④ ①地域共生社会の実現に取り組んでいく。
- ②330床程度を目標に整備を進めていきたい。
- ③基金の投入等により上昇率の抑制を図った。

**今後、eスポーツを若者だけでなく、高齢者にも普及していくべきと考えるが。**

- ④ 共生社会のスポーツだと思っており、高齢者等の参加に向けて、検討を進めている。

**区内の危険なブロック塀の撤去について。**

- ④ あらゆる機会を通じて助成制度のPRを行い、危険なブロック塀を無くしていきたい。

**耐震改修促進計画の改定について。**

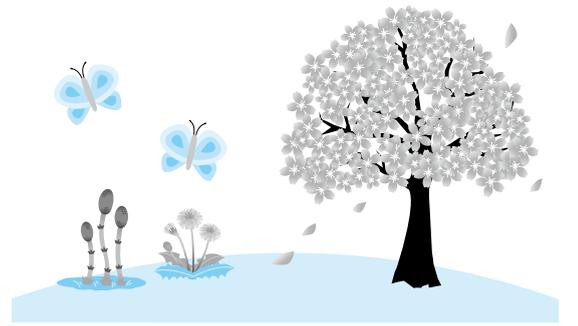
- ①耐震化の課題と今後の取り組みについて。
- ②2000年基準以前の耐震基準木造住宅の耐震化に取り組むべき。
- ④ ①高齢化や資金不足等が課題であり、丁寧な支援等により更なる耐震化に努めていく。

**空家家等の公的活用と住宅確保要配慮者に対する支援について。**

- ④ ①令和3年度に行う専門家による耐震性能の検証の結果を踏まえ、今後の対応を検討していく。

**今後の公的活用バンクの取り組みについて。**

- ④ ①区内での活用方法の検討や空き家活用の事業提案の公募を行い、優秀な提案に対しては改修費の助成等を実施していきたい。
- ②見守り支援サービス等の制度の周知や空き家活用等の居住支援の推進に取り組んでいく。



「インターネット健全利用促進条例(案)」  
へのご意見を募集しています。

詳しくは、江戸川区議会の  
ホームページをご覧ください。



詳細が決まり次第、お知らせいたします。お楽しみに♪

## 予算特別委員会

予算特別委員会は、2月25日から3月10日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の予算案について、審査を行い、広範にわたって詳細な質疑が行われました。

委員会での審査を踏まえ、3月23日の本会議で採決の結果、令和3年度一般会計予算案と介護保険事業特別会計予算案は、賛成37・反対5、国民健康保険事業特別会計予算案と後期高齢者医療特別会計予算案は、賛成38・反対4でそれぞれ原案のとおり可決しました。

なお、委員会に一般会計予算についての修正案が提出されましたが、否決しました。

## 令和3年度予算に対する各会派の意見

### 自由民主党(賛成)

コロナ禍による厳しい経済状況の中、財調基金を取り崩すことで、誰もが安心して暮らせるまちの実現、区民生活向上と地域経済活性化のため、過去最大の積極予算となっている。SDGsの推進、脱炭素への取組、DXの推進の3本柱を中心に様々な施策を展開するものであり、区民の立場に立った予算であるかを重点に真摯に審査した結果、令和3年度一般会計並びに各特別会計予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- 更なる滞納対策強化を。
- 財政調整交付金の配分比率の見直しについて、都に働きかけを。
- カヌースラローム競技場の跡地利用について、レジャープールとして活用を。
- 児童文学館について、充実したアクセス網、賑わいづくり、国内外への本区の魅力発信を。
- AI議事録システムの活用により、適材適所の働き方改革の推進を。
- DXの取り組みについて、セキュリティ対策に万全を期して、各部局の業務効率化を。
- オリンピック・パラリンピックに関わる全ての方が安全・安心に楽しめるように対策を。
- 区内企業や団体と連携し、「SDGsの江戸川」と呼ばれるよう推進を。
- 今後のロケーション・CM・アニメ制作等を通じて、積極的な本区の魅力発信を。
- 新庁舎建設について、船堀地域と一体となったまちづくりを。また、区内産業発展の視点から区内発注スキームづくりを。
- 市街地再開発事業に係る補助金の使途、内容等の監査体制と明瞭化を。
- コミュニティ交通について、上一色周辺の地域の意見を踏まえて需要調査を進め、交通事業者と連携し、交通不便地域の課題解消を。
- メトロセブンについて、LRTやBRTの検討、優先地域整備等、新しい発想で実現に向けてよ

り一層の努力を。

- ディズニーランドやJRとの連携等、あらゆる可能性を考え、世界の葛西臨海公園になるよう一層の努力を。
- 葛西駅のホームドア設置と広場連絡橋の利用、西側に新たな改札口設置の推進を。
- 2000年基準以前の耐震の木造住宅についても耐震化を。
- 気候変動適応センターについて、民間企業との連携を密にしながら、脱炭素の推進と温室効果ガスの更なる削減を。
- 自動通話録音機の更なる普及を。
- こみや集積所の増加状況に鑑み、増車・増員等の対応を。また、覚書を結んでいる企業に対し、人件費等の更なる拡充を。
- ハワイホノルル市との姉妹都市盟約を契機に、様々な分野での交流活性化を。
- 医師会の協力を得ながら、安全・安心、笑顔の障害者スポーツ推進を。
- マイナンバーカード保有率を目標値まで増やすため、普及啓発を。また、証明書類のコンビニ交付について、書類の種目の拡大を。
- 地域名産品の研究開発等において、区も主体的に参加するプロジェクトづくりの推進を。
- 独自の経済指標の分析、企業誘致や上場企業との連携等、区内産業活性化の新たな試みを。
- 災害時要支援者名簿は、名前だけの配列ではなく、安否が取れる生きた名簿とすること。
- みんなの就労センターについて、雇用のミスマッチの改善と誰もが働きやすい環境整備を。
- 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて、更なる取り組みを。
- 待機児童解消に向けて、更なる拡充を。また、保育士確保に向けても、より一層の充実を。
- 新型コロナウイルスワクチン接種について、供給動向を踏まえながら、円滑な接種を。
- 自殺者が0人になるよう自殺防止対策を。
- 国や都と連携し、無電柱化の推進を。
- レンタサイクル事業について、コミュニティサイクルとの連携強化や区内各地へのポート設置により、交通手段として更なる充実を。
- 倒壊の恐れのあるブロック塀等について、撤去の推進・助成を。
- ギガスクール構想について、生徒それぞれに最適化された、創造性を育む教育の展開を。
- 就学前歯科健診の状況をしっかり分析し、小学校入学前に虫歯ゼロを目指すこと。また、入学後も給食後の歯磨き運動の普及により、虫歯罹患率を減少させ、学力・体力の向上を。



給食後の歯磨き運動について

- 学校数に対し少なすぎる指導主事の増員を。
- 民間委託による放課後補習教室の推進を。
- 学校校庭の人工芝生化について、今後も研究を重ね、新設校も含め、更なる拡充を。
- 年々増加する不登校児へのきめ細やかな対策により、一人でも多く救済を。また、最善の指導方法を模索し、いじめ防止策の徹底を。

### 公明党(賛成)

SDGsの推進、脱炭素社会実現への取組、

DXの推進の3つの視点を軸に、積み立ててきた基金を活用し、安定した区民サービスの向上を目指す予算編成を高く評価し、区議会公明党として、令和3年度江戸川区一般会計予算と各特別会計予算に賛成する。

〔主な要望〕

- 歳入確保への努力とともに、健全財政を堅持しつつ、時代に合った財政運営を。
- あらゆる機会を通じ、区民にSDGsを私事として捉えてもらえるよう、取り組みを。
- 新庁舎建設について、本区の新しいシンボル、70万区民の災害拠点として、また船堀駅周辺のまちづくりとともに推進を。
- 大規模水害時の自主避難の補助について、申請方法の簡略化等、利用しやすい取り組みを。
- オフィスサポートセンターについて、知的障害者の雇用実現とともに、みんなの就労センターとの連携を図り、共生社会構築の推進を。
- タクシー事業者等の活用による生活拠点、循環型のコミュニティ交通の検討を。
- 令和2年度の目標耐震化率98%の達成と本計画の更なる改定、及び事業対象の拡大を。
- 気候変動推進センターの設置については、SDGsアプリ等を作成し、区民とともに実践する取り組みを。
- 食品ロス削減について、区内企業に呼びかけ、更なる推進を。フードバンクへの支援を。
- 共有プラザについて、不登校や課題のある生徒への支援拡充と葛西南部地域への設置を。
- 「東京パラリンピック22できる宣言」等を通じ、障がい者スポーツの更なる推進を。
- 新型コロナウイルス感染症関連の融資について、状況を見極めて更なる延長を。
- みんなの就労センターについて、協力企業の確保に全庁を挙げて取り組むこと。
- 災害時避難行動要支援者に実効性のある支援を行うため、地域との連携を図ること。
- 特別養護老人ホームについて、障がい者等も含め、複合的なサービスの拠点とすること。また、設置において地域間バランスの考慮を。
- 医療的ケア児コーディネーターの配置によりライフステージに沿った支援の拡充を。
- ひきこもりの方の個人別支援体制の整備と家族会の結成の推進を。
- 小規模保育所等の整備の推進と保育資源の最大限の活用により、待機児童の解消を。
- 人権・男女共同参画推進センターでのきめ細やかな対応と支援の充実を。
- 子どもの食の支援については、フードバンクと連携し必要な家庭に届く仕組み作りを。
- 未就園児家庭訪問事業は、切れ目のない支援として重要であるため、事業の長期継続を。
- 新型コロナウイルスワクチン接種について、65歳以上の接種スケジュールの周知を徹底し、予約システム等により、安全・安心な接種の推進を。
- 産後ケア事業について、拡充した訪問型も含め該当者への周知に努め、産後うつ防止を。
- 在宅人工呼吸器使用者への災害時個別支援計画を充実させるとともに、自家発電装置購入助成において、蓄電装置も対象とすること。
- 地域との連携を軸に防災や環境に配慮し、公園の利活用を進めること。
- すくすくスクールの時間延長と補食については、安定した運営のための人材確保を。
- 中学校の特別支援学級について、葛西南東部への設置を。
- 学校給食費保護者負担軽減の継続を。

○ギガスクール構想で配布されるタブレット端末を効果的に活用するとともに、読書科について、更なる充実と読解力向上を図ること。



**タブレット端末の効果的な活用について**

- 学校図書館司書の全校配置と蔵書のバーコード管理を。
- 放課後補習教室の民間委託について、講師と学校が綿密に連携し、学習に不安を抱える全ての児童・生徒に支援が及ぶように。
- 不登校対策について、「江戸川区子どもの権利条例」のもと、多様な学びの機会の確保を。

**江戸川クラブ(賛成)**

誰もが輝けるまち・江戸川区を実現すべく、予算案を丁寧に審査した結果、令和3年度一般会計及び各特別会計予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- 令和3年度に限り、議会の通年開催を。
- 学校改築等の公共調達基本条例と併せ、独立した条例として、公契約条例の制定を。
- 今後の選挙では、旧姓を利用する立候補者が増えると予想できる。当選証書授与の際に、立候補時に使用した苗字で呼ぶ等の配慮を。
- コロナ禍においても、感染予防対策を徹底した上で、引き続き、文化芸術活動の継続を。
- 子ども会について、活動の中心となる子どもや保護者へのアンケート調査等、活動内容の精査を。
- 本区におけるSDGsの必要性について、区民にわかる言葉でしっかりと周知を。
- 新型コロナワクチンについて、希望者への安定した供給と混乱の無い接種の進行を。また、あらゆる手段で接種方法の周知を。
- 妊婦全数面接時に渡すギフト券の使用方法に掲載されている「酒・煙草」に違和感を持つ区民がいることを踏まえ、改善の検討を。



**妊婦全数面接時に渡すギフト券について**

- 「江戸川区認可外保育施設指導監督要綱」に偽ることなく、検査・指導体制の強化を。
- 都が行っている多胎児支援事業の導入を。休みなく続く子育てで疲弊している親は多い。時代に合った「子育てしやすい街」になるよう、研究・調査を強く要望。
- 住宅等への駐車場附置義務について、今後も実態調査や検証作業を踏まえ、積極的かつ大胆な制度の見直しを。
- 首都直下型地震や大型台風といった危険を放置せず、スーパー堤防事業の早期実現を。
- すくすくスクールにおける長期休業中の仕出し弁当等について、引き続き研究・検討を。
- きこえの教室について、区のどの地域の児童も通いやすくなるよう、整備の検討を。

**日本共産党(反対)**

新年度予算案には、区民生活にとって改善となる重要な前進面もあるが、区民の立場に立つて容認できない問題点があり、令和3年度一般会計予算・各特別会計予算に反対する。

〔主な反対理由〕

- 生活保護利用の最大の壁である扶養照会をやめるべき。施設巡回型PCR検査について、「ワクチンにシフトを置く」として3月で終わることは納得できない。保育士配置基準の改善を国に求めることを否定したことは、区民の願いに背を向けるものである。
- スーパー堤防事業を区画整理と一体で進めるという区の姿勢。防災ラジオの普及について、「ラジオだけに公費は払えない」と、デジタルデバイドの状態にある高齢者等への支援策に消極的な姿勢。安価で安心できる耐震シェルターの検討を行わないこと。
- 来年度は景気活性化のための予算としながら、消費税増税は必要とする区の立場は大きな矛盾である。マイナンバーカードによるデジタル化について、安全性が確認されないままの推進は問題。落下物等の危険性があるにもかかわらず、羽田空港新ルートの中止を求めない姿勢は区民の命と暮らしを守る自治体本来の役割を果たしているとは言えない。
- 新入学準備金の増額や学用品費の早期支給を求めたが応じない、給食費補助金の増額を否定する等の区の姿勢は、経済的な子育て支援の期待に背を向けるものである。35人学級を直ちに実施せず、国や都の動向を見ていくという立場を変えなかった。学校図書館司書の配置を先送りする姿勢。



**学校図書館司書の配置について**

- 国民健康保険料について、1年後に今年の分を含めて2倍の値上げを予定していること。
- コロナ禍で介護保険料の据え置きや値下げをする自治体もある中、値上げをすること。
- 年収200万円以上の高齢者の医療費窓口負担を2割にすると国に同調すること。

**生活者ネットワーク・立憲民主党(賛成)**

脱炭素社会、子どもの権利の保障、男女共同参画、共生社会実現へ取り組む姿勢を鑑み、令和3年度予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- SDGsの目標設置と客観的な管理を。
- 区のICTの強化、ビジネスインテリジェンス等を導入した予測型ICTへの変革を。
- 「エコタウンえどがわ推進計画」の見直しを行い、推進するために気候非常事態宣言を。
- スーパー堤防整備方針の見直し、区民向け災害情報ダッシュボードを含む災害対策の強化を。
- 高齢者など住宅確保要配慮者への取り組みを進め、空き家活用は区民参加が進む形を。
- 自立支援協議会の見直し等、障がい当事者、支援者双方の声を大切にしまちづくりを。
- 育成室・保育園で医療的ケア児の受け入れを。

○3歳児健診の視力検査において、スポットビジョンスクリーナーでの検診を。

○混合名簿の利用、制服着用の自由化、性教育について、積極的な対応を。

○外国人児童に対する日本語支援と日本人児童に対する実践的な英語教育の更なる強化を。



**実践的な英語教育について**

**えどがわ区民の会(賛成)**

区民の期待と要望に応えるべく編成された令和3年度予算案に大いに期待をし、賛成する。

〔主な要望〕

- カヌー・スラローム場の東京オリンピック・パラリンピック後の利活用について、広い視野での可能性の模索を。
- 各町会・自治会が法人化を進めやすいよう、引き続き、行政によるバックアップを。
- 区内経済を支える中小企業を支援するため、融資制度の拡充をはじめ、更なる対策を。
- 受動喫煙防止と歩きたばこ・ポイ捨てをさせないための更なる指導と周知の徹底を。



**歩きたばこ・ポイ捨てについて**

○無料アプリLINEを使用した地域の繋がりや互いの安否確認、新たなコミュニティの創設に向けた取り組み・研究を。

○春江橋架け替え工事の早期実現に向け、地域の合意形成を図った上で進めていくこと。

**無所属(賛成)**

令和3年度予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- 生産緑地の保全や区民の要望を踏まえ、バランスを取りながら、区民農園の有効活用を。
- 引き続き、町会や警察等との連携を図りながら、街の環境整備に努めていくこと。
- 長期育休支援制度の研究・周知の努力を。
- 小岩駅再開発は、地元とのコミュニケーションを大事にし、引き続き魅力ある活動を。

**無所属(賛成)**

令和3年度予算案に賛成する。

〔主な要望〕

- 特別支援学級のどの子も入れるすくすく学童のしくみと放デイ空き状況一覧に着手を。
- 下請けであっても賃金下限額を下回らない「公契約条例」をどの契約にも適用されるよう。
- 飲食店弁当販売場を役所に設け具体的支援。
- 今年の7,479名の新成人の皆さんの思いを「10年後の成人式」として実現を。

## 議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



### 全会一致となった議案等の審議結果

件名		結果	
区長提出議案	予算	令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第10号)	可決
		令和2年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	
		令和2年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	
		令和2年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	
		令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第11号)	
	条例	江戸川区役所の位置を定める条例	
		江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例	
		江戸川区組織条例の一部を改正する条例	
		江戸川区監査委員条例の一部を改正する条例	
		江戸川区建築審査会条例の一部を改正する条例	
		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
		福祉向上基金条例	
		子ども応援・はあと基金条例	
		江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
		江戸川区総合区民ホール条例の一部を改正する条例	
		江戸川区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
		職員の特務勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	

件名		結果	
区長提出議案	契約	江戸川区立二之江小学校教室棟外解体工事請負契約	可決
		江戸川区立篠崎小学校教室棟外解体工事請負契約	
		江戸川区立南小岩小学校教室棟外解体工事請負契約	
		江戸川区立瑞江第三中学校教室棟外解体工事請負契約	
		松本橋架替工事(その8)請負契約	
	その他	訴えの提起について	同意
		特別区道の路線廃止について	
		債権の放棄について(4件)	
	同意	江戸川区教育委員会委員の任命同意について	同意
		江戸川区教育委員会教育長の任命同意について	
議員提出議案	江戸川区議会会議規則の一部を改正する規則	可決	
	江戸川区議会委員会条例の一部を改正する条例		

#### 令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第10号)

補正額: 69億1,322万4千円 補正後の総額: 3,664億2,684万9千円  
JR小岩駅周辺地区等街づくり基金積立金等。

#### 令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第11号)

補正額: 6億7,331万4千円 補正後の総額: 3,671億16万3千円  
ワクチン接種会場運営業務委託等。

### 意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

件名	自民	公明	江ク	共産	ネ立	区民	無所属(50音順)			結果	
	15人	12人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	1人		
区長提出議案	予算	令和3年度江戸川区一般会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
		令和3年度江戸川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
		令和3年度江戸川区介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	
		令和3年度江戸川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
	条例	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	
		江戸川区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	
		江戸川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	
契約	仮称新左近川親水公園ラグビー場整備工事請負契約	○	○	○	○	×	○	○	○	×	
その他	特別区道の路線認定について	○	○	○	×	×	○	○	○	○	

### 皆さんから提出された請願・陳情

新たに受理されたもの	付託委員会	番号	内容	委員会
66号 江戸川区議会のネット中継の放送方針についての陳情	議会運営委員会	73号	江戸川区景観条例施行規則の一部改正に関する陳情	建設委員会
67号 インターネットの電子メールで請願できるようお願いの陳情	議会運営委員会	74号	議会事務局職員を議員野球の手伝いに動員するのをやめるよう求める陳情	議会運営委員会 参考送付
68号 「江戸川区屋根等遮熱塗料施工助成金制度(仮称)」創設に関する陳情	生活振興環境委員会	75号の1	発達障害児支援に関する陳情	福祉健康委員会
69号 江戸川区議会ホームページにおける情報公開に関する陳情	議会運営委員会	75号の2	発達障害児支援に関する陳情	文教委員会
70号 核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書提出についての陳情	総務委員会	76号	江戸川区ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情	生活振興環境委員会
71号 自衛隊の医療部隊増強について意見書を国に提出する事に関する陳情	総務委員会 参考送付	77号	江戸川区障害者支援ハウスにおける利用者死亡事故の黙祷を求める陳情	議会運営委員会
72号 葛西海浜公園西なぎさの自然環境と景観保全に関する陳情	生活振興環境委員会	78号	羽田新飛行ルートの運用中止を国に働きかけるよう求める陳情	生活振興環境委員会

# 令和3年度 予算編成3つのポイント

- 1 SDGsの推進(共生社会の実現)
- 2 脱炭素(気候変動)への取組
- 3 デジタルトランスフォーメーションの推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

## 《SDGs※に基づく主な新規・拡充事業》

<b>1</b> 貧困をなくそう	<b>貧困をなくそう</b>	人権・男女共同参画推進センター「大人のなんでも相談」 941万5千円
<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>すべての人に健康と福祉を</b>	障害者虐待SOS電話の設置(新) 270万6千円 医療的ケア児コーディネーターの配置(新) 297万2千円 災害時避難行動要支援者の支援 583万円
<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	<b>質の高い教育をみんなに</b>	児童文学館の建設 15億9,836万円 すくすくスクール事業(時間延長・補食) 12億8,435万円
<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>働きがいも経済成長も</b>	AI議事録システムの導入(新) 515万6千円 みんなの就労センター運営支援(新) 1,275万8千円
<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう	<b>人や国の不平等をなくそう</b>	総合型地域“パラ”スポーツクラブの設立検討(新) 24万6千円 東京パラリンピック22競技“できる”宣言! 234万5千円

<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを	<b>住み続けられるまちづくりを</b>	大規模水害時自主的広域避難補助(新) 防災情報システムのクラウド化 4,242万9千円
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を	<b>気候変動に具体的な対策を</b>	気候変動適応センターの設置(新)
<b>16</b> 平和と公正をすべての人に	<b>平和と公正をすべての人に</b>	マイナンバーカード交付窓口の拡大 5億7,624万円 児童虐待等の親支援プログラム 356万6千円
<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう	<b>パートナーシップで目標を達成しよう</b>	SDGs普及啓発(新) 5,470万円 共生社会実現構想の推進(新) 4,125万円

**「SDGs中学生議会」**  
江戸川区議会は、この秋、「SDGs中学生議会」の開催を予定しています。4月に「SDGs中学生議会実行委員会」を立ち上げ、SDGsを推進していきます。

(※SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。17の目標と169のターゲットから構成されており、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、経済、社会、環境の3つの側面のバランスの取れた持続可能な開発を目指しています。)

## 総務委員会 主な議案審査内容

- 令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第10号)
  - ・歳入 寄付金
 

委員より、福祉向上基金及び子ども応援・はあと基金について質問があり、執行部より、福祉や子どものための活用を望む寄付者が多いことを踏まえ、新たに両基金を設置する。担当部署において、管理運用し、寄付者の意向に沿った事業に活用していくとの答弁があった。

これに対し、委員より、基金の活用には、寄付者の思いを強く受け止め、最大限に尊重すること。また、児童養護施設を退所した方々に対する経済的な支援への活用等、寄付金の使途について検討していくことが要望された。
- 江戸川区立二之江小学校教室棟外解体工事請負契約
- 江戸川区立篠崎小学校教室棟外解体工事請負契約
- 江戸川区立南小岩小学校教室棟外解体工事請負契約
- 江戸川区立瑞江第三中学校教室棟外解体工事請負契約
 

委員より、入札方法について、最低制限価格制度の適用範囲の検討等、より良い入札制度とすること。総合評価をするにあたっては、価格点の占める割合が高いため、地域・社会等貢献点との配分を見直すことが要望された。また、低価格入札は下請け労働者の待遇に影響を及ぼすと考えられるため、今後上程予定の公契約条例では、入札予定価格の適用範囲を検討することが要望された。

## 議員から提出された議案

- 江戸川区議会会議規則の一部を改正する規則
  - 江戸川区議会委員会条例の一部を改正する条例
- 詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

## 令和3年第2回臨時会開催予定

5月25日(火) 本会議

## 令和3年第2回定例会開催予定

- 6月7日(月) 本会議(議案上程、委員会付託)
- 10日(木) 本会議(一般質問)
- 11日(金) 本会議(一般質問)
- 14日(月) 常任委員会(議案審査)
- 15日(火) 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 22日(火) 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時または午後1時30分開会予定です。詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

## 区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長)

- ◎高木ひでたか ○竹内すすむ
- 岩田まさかず 小俣のり子